

地域運営学校・8年目始動!

～活動することの意味をみんなで考える～

世田谷区立給田小学校 学校運営委員会通信

平成26年度 第1号
平成26年5月27日
世田谷区立給田小学校
学校運営委員会
委員長 程原剛

議題

1. 学校長より
・臨時学校運営委員会の報告
2. 学校経営の基本方針承認
3. 委員より
・給食ボランティアについて
4. 自己紹介
5. 前委員長より
・7年間の総括

出席者

程原、土屋、芝崎、田中、
椿、増本、稲井、柴田、
田村、杉山、大湊、鶴岡
オブザーバー
井上健 (前委員長)
若林みどり (学校支援コーディネーター)
荒川大樹 (理科講師)

最初に、杉山校長より「4月1日に行われた臨時学校運営委員会で、委員の互選により、程原剛委員が委員長として承認された」との報告がありました。

続いて、平成26年度の学校経営の基本方針が学校運営委員会において承認されました。その後、杉山校長から「今年度は『オリンピック教育推進校』として、各学年ごとにオリンピックに関する学習や体力づくりを進めていく」などのお話がありました。

次に、増本委員から「明日(4月16日)から始まる『給食補助ボランティア』に、65

4月15日、校長室にて
第1回学校運営委員会が開かれました。

名の保護者からの応募があった」との報告がありました。続いて、出席者の自己紹介がありました。

最後に、オブザーバーとしてお招きした前委員長の井上先生に7年間の活動を総括していただきました。「給田小学校運営委員会がこれまで大事に育んできた『ビジョン』を大切にすること、以前と同じような活動であっても、関わる人の意識や視点が深まることで地域運営学校にふさわしい活動になり得ること、直接的なボランティア活動だけが学校支援活動や【参画】ではないこと、保護者や地域住民、そして、教員の感性やアイデアが活性化されると、思ってもみなかった新しい展開や豊かな教育活動が生まれること、などを、ぜひ受け継いでいただきたいと思います」と願っている。そのためにも『対話しながら物事を考えること』を大切にしてほしい」とのお話がありました。

平成26年度学校運営委員・事務局メンバー



安部 克則 鶴岡 武臣 柴田 早苗 田村 恵 増本 陽子
大湊 勝弘 杉山 直道 程原 剛 田中 邦治 椿 幸枝



芝崎 剛



土屋 俊幸



稲井 達也

学校運営委員

- 芝崎 剛 (保護者：前PTA会長)
田中 邦治 (地域：前給田町青穂会会長)
椿 幸枝 (地域：総合型地域スポーツクラブ運営委員)
増本 陽子 (保護者：元PTA副会長)
土屋 俊幸 (地域：元PTA会長)
稲井 達也 (学識：日本女子体育大学教授)
田村 恵 (就学予定児童保護者：給田幼稚園ふたば会会長)
柴田 早苗 (保護者：PTA副会長)
杉山 直道 (学校長：給田小学校校長)

委員長 程原剛 (保護者：北烏山駐在所)

この度、平成26年度学校運営委員会委員長になりました程原剛と申します。どうぞよろしくお願いたします。

前任の井上委員長には9年間という長きにわたり給田小学校にご尽力いただき感謝しております。それとともに井上委員長が掲げた3つのビジョンを大切に継承し活動してまいりたいと考えております。

先日1週間をかけ、新1年生5クラスの子どもたち全員と給食を一緒に食べ、楽しい時間を過ごさせていただきました。その光景の中に、ちょっと緊張して不安そうなのですが、とっても楽しそうな給食ボランティアのお母さんたちの姿がありました。

きっと初めての給田小学校と、子どもたちへの関わりだったのではないのでしょうか。このお母さんの体験こそが、他校では味わえない給田小の地域運営学校の原点だと思いました。



事務局

- 副校長 大湊 勝弘
教務主幹 鶴岡 武臣
生活指導主幹 安部 克則

1年間 どうぞよろしくお願いたします。

井上先生 ありがとうございます！

学校外部評価委員会（現在の関係者評価委員会）の委員長（平成17～18年度）として、また、学校運営委員会の委員長（19年度～25年度）として、給田小学校を支えてくださった井上先生。学校運営委員会通信の「教えて！井上先生」のコーナーで、地域運営学校や世田谷9年教育についてわかりやすく解説して下さったことを覚えていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。退任にあたり、委員会での活動や給田小への想いをうかがいました。

給田小学校が地域運営学校に指定された平成19年度から昨年度まで、7年間に渡り学校運営委員会の委員長を務めさせていただきました。部外者であった私を温かく受け入れてくださり、共に汗を流して下さったこと、みなさまに深く感謝を申し上げます。

「地域とともに子どもを育てる」と言われる今日ですが、地域は必ずしも自明ではなく、保護者

が学校に求めるものもさまざまです。そうしたなかで、これからの学校教育はどのようなべきなのか、保護者や地域住民の参画によって何が変わるのかを考え続けてきました。

私にできたことはわずかですが、学校運営委員会通信の編集・発行を通じて、ビジョンにもとづく協働と振り返り、関係者の意識や視点の変化、想いを言葉にしていこうと、新たな出会いと活動の深まり……に手応えを感じています。それが学校を支える力、変える力となるに違いありません。「大好きな給田小学校。今、バトンを渡します。」



前委員長
東京都立大学教授
井上 健

「地域運営学校」としての3つのビジョン

*給田小の子どもたちは、

- ・家族や担任教員以外の大人とふれあう機会が増える。
- ・住んでいる地域や通っている学校について、自分の言葉で表現できるようになる。

*給田小の教職員は、

- ・授業や教育活動をいろんな人に見てもらう機会が増える。
- ・クラスや教科を越えて、学校の現状や将来について考えることができるようになる。

*給田小の保護者・地域住民は、

- ・学校のために、自分ができることをする機会が増える。
- ・「私の子どもの学校」から「私たちの子どもの学校」として考えることができるようになる。

学校運営委員会では、地域運営学校に指定された2年目に【3つのビジョン（目標・指標）】を考えました。地域運営学校のキャッチフレーズである「地域とともに子どもを育てる」を給田小らしく解釈したものです。

委員会はさまざまな立場の委員で構成されています。保護者・地域住民としての感覚と【ビジョン】を大事にしながら、学校の取り組みや地域行事を見る機会を増やし、感じたこと、考えたことを話し合っています。

平成25年度 第11回学校運営委員会報告

3月13日、校長室にて第11回学校運営委員会が行われました。

最初に、杉山校長より「世田谷区健康安全推進学校」として表彰された。「東京都学校歯科保健優良校」を受賞した。また、24年度の学校関係者評価のアンケート結果で、学校からもっと情報発信をして欲しいという保護者の要望があった。それを受け、25年度は学校HPの『学校日記』の更新回数を増やした」との報告がありました。

続けて杉山校長から、26年度の重点目標に関して「『健康教育の推進』『コミュニケーション力の育成』『ことばの力を高める言語活動の充実』を柱として、具現化に向け取り組む」とが述べられました。

次に、清水委員より「学校運営委員会通信で『給田小わんわんパトロール』に登録している犬を紹介したことで新たにメンバーが増え、活動が広がっている」とのお話がありました。

それに関連して、安部主幹教諭から「わんわんパトロールの記事をみた他校の教員からも、すばらしい地域活動であり、とてもインパクトがある通信だ、との評価を得た」と語られました。

続いて、リエゾン・オフィスからは「学校支援コーディネーター、漢字検定の運営、運営委員会の後方支援（おもに学校運営委員会通信の発行への協力）のためにリエゾン・オフィスを立ち上げ活動してきたが、26年度からは、学校支援コーディネーターに専念し、引き続き学校の教育活動のサポートを行う。漢検と学校運営委員会通信の発行は学校運営委員会に委ねる」との報告がありました。

最後に、26年度の活動について、引き続き給田小地域運営学校の「3つのビジョン」を大切にしながら地域とともにある学校作りを進めていくこと、PTA、ボランティアチームとの相互理解を深め、協働をめざすことを確認し、25年度最後の学校運営委員会が終了しました。

井上委員長、清水委員、溝口委員、森田委員、林委員が25年度で退任いたしました。

在任中、学校運営委員会の活動にご協力いただきましたみなさまに深く感謝申し上げます。

議題

1. 学校長より
 - ・近況報告
 - ・26年度の重点目標
2. 委員より
3. リエゾン・オフィスより
4. 26年度の活動について

出席者
清水、溝口、椿、増本、林、杉山、片山、安部、鶴岡、リエゾン・オフィス